

## INDEX

2. 政府のイノベーション戦略
3. 自動車イノベーション
4. ICTイノベーション
5. 化学イノベーション
6. メディカルイノベーション
7. 農林イノベーション
8. 環境イノベーション
9. ワーキングイノベーション
10. グローバルイノベーション



活躍の場を広げるロボットテクノロジー  
(パナソニック発のVBアクティブリンクが開発した装着型ロボット)

# 「イノベーション」 革新的な市場創出

## 日本経済を力強く



世界に誇れる高速鉄道システムを確立した日本。  
その先を目指す(山梨リニア実験線)

### 「連携」重要

イノベーションを加速するには、企業が自社のリソースだけで開発し、市場開拓を進めるだけでなく、外部のリソースを取り込んだり連携したりすることで、より短期間に成果を生み出すようにすることも重要だ。米国では、大企業が中小・ベンチャーの技術を活用してイノベーションを創出するコーポレートベンチャーリングの手法を積極的に活用している。グローバルやアップルが位置情報技術や自動運転技術を開発し、自動車産業で、強いサービス産業、



強い医療や農業へ生まれ変わらせるといった取り組みも始まった。

### 大胆な緩和

こうしたイノベーションの芽を育み、大きく根をはる樹木へと育てていくためには、国の役割も欠かせない。新市場の創出には、従来の枠組みを突き破る大胆な規制緩和や制度改革が不可欠だ。また、地方にイノベーションの波を行き渡らせ、地方創生を実現するための国家戦略を策定し、実行する。

イノベーションを加速させ、日本経済を力強い成長へと導くためにも産学官が一体となった取り組みが求められている。



海外でも日本の建機や農機は高い評価を得ている(コマツの林業機械は数分で稼働状況を把握し、レポートする)

## 問題

70億人で省エネせよ。

電気というエネルギーを得るために、  
人はどれだけのエネルギーを費やすのだろうか。

あなたは使うだけでいい。旭化成のホール素子が  
世界中のモーターを制御し、エネルギーロスをなくしてゆきます。

いま省エネルギーを考える時、センサーの果たす役割は極めて大きい。私たちの家庭では、あらゆる家電にモーターが使われているが、(CDやDVDはその一例だ)センサーの力で、そのモーターの回転位置や速度を正確に把握することができる。すると、いわば回し過ぎることなく、必要最低限の電気でモーターを動かせるようになる。ホール素子というセンサーの出現で、モーターのエネルギー効率は飛躍的に進化した。

旭化成は、世界中で使われるホール素子の約70%、年間12億個以上を生産している。あなたがケータイを閉じた時、自動で画面が消えるのもホール素子の力である。誰もが使うものが進化すれば、誰もが省エネに参加できる。

電気をつくる技術はもちろんだが、電気を無駄なく使う技術も、いま、求められている。

昨日まで世界になかったもの「ホール素子」。詳しくは [www.asahi-kasei.co.jp](http://www.asahi-kasei.co.jp)

昨日まで世界になかったものを。

AsahiKASEI